

やま であら ぜき 山寺堰

水^み

土^ど

里^り

ウォーク

現役の県内最古の堰

「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」

山寺を訪れた松尾芭蕉が詠んだ有名な一句である。この山形市山寺地区で、立谷川を堰上げし、取水しているのが山寺堰である。

山寺堰の歴史は古く、約700年前に山寺の霊場を開いた高僧慈覚大師によって、田畑をかんがいするために開削されたと云われている。管理されている堰の中では県内で最も古いものだ。堰の全長は11.9 kmあり、天童市南部にある326 haの農地を潤している。元々山寺立石寺の領地だった農地は、扇状地に位置していたことから地下へと水が浸透してしまい水の確保が難しく、上流部へ水源を求めたことから取水口は立石寺のお膝元に位置している。

その山寺堰は天童堰と高揃堰に分かれ、各田んぼへ用水される。現在でもかんがい用水や養魚池、防火用水、地盤沈下を防止する逆さ井戸にも利用されていることから、農家と沿線住民が一緒になって堰の草刈りや清掃などを行い、大切に管理されている。

水不足に悩むことが多かったこの地域は、山寺堰の水源がある面白山への信仰が篤く、面白山に参詣し雨乞いを行っていた。現在も堰の関係者が、春に豊水を祈願し、秋には感謝のために立谷川の源流である山頂の面白山大権現を参拝している。水源地のある面白山を登山して水の大切さや先人達の苦労を感じながら、石積み水路沿いを散策し趣のある風情を体験してみてはいかがだろうか。



面白山大権現

面白山は山寺から北東に約10 kmのところであり、山頂付近には豊水を祈願する大権現がある。

山寺堰 周辺マップ



至 面白山



① 山寺立石寺

雄大な景色が広がり、国内外から年間 70 万人が訪れる、県内有数の観光スポット。



⑥ 総合運動公園

Jリーグサッカー「モンテディオ山形」の本拠地がある広域公園。10月に「秋の食彩まつり」が開かれる。



② 山寺堰取水口



③ 天童堰と高掬堰の分岐点



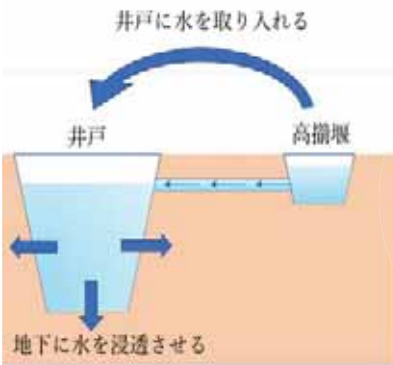
④ 清池の石鳥居

平安時代に造立され、県指定有形文化財となっている石鳥居で「最上の三鳥居」の一つ。



航空写真提供：水土里ネットやまがた
(水土里情報システム)

⑤ 逆さ井戸



○逆さ井戸とは
井戸に水を入れて地下に水を浸透させることが目的の施設。
地下水は安全性の高さや水温の変化が少ない等、優れた性質を持っている。逆さ井戸はその貴重な資源を守る役割を果たしている。また、地下に浸透させることで河川への流出を減らし氾濫を防ぐことや、地下水位の低下を防ぐことで地盤沈下を引き起こさないようにするなどの効果がある。